HAMAMATSU
CREATIVE CITY BOOSTER
はままつクリエイティブシティブースター

はままつクリエイティブスイッチ　開催レポート
オリジナルコサージュを作ろう！

開催日：2026 年 9 月 19 日（土）
会場：クリエート浜松　アトリエ
講師：大室アンジェラ先生

浜松産の布を使って、オリジナルのコサージュを作るワークショップを開催しました。講師は、笹田学園ファッション主任教員の大室先生です。布選びから花びらの形づくり、仕上げまで、布を使ったものづくりを体験しました。

■浜松の布に触れるところから

はじめに、講師が遠州織物や地域の布づくりについて紹介しました。会場には、笹田学園のファッションショーに出展した服の一部も持ち込まれ、ファッションを学ぶ活動についても説明がありました。浜松が布の産地であることを伝え、手元の材料を地域のものづくりと結び付ける説明から、制作が始まりました。



■６枚の布を選び、組み合わせを考える

まず参加者は、ＡからＦまでの６種類の布を１枚ずつ選びました。６枚の布は、土台に近い部分、花びら、裏面など、それぞれ使う場所が異なります。布を重ねて全体の雰囲気を確かめる方法や、直感で好きな柄を選ぶ方法も紹介されました。参加者は真剣なまなざしで、一つ一つの柄を確かめながら布地を選んでいました。

■道具の使い方を確かめ、パーツを準備





作業前には、裁断ばさみの形や持ち方を説明。まず帯状の布に切り込みを入れ、ボンドを使って巻いたパーツを準備しました。参加者は講師のアドバイスを聞きながら、黙々と作業に取り組んでいました。

■花びらの形をつくる

花びら用の布は折って型紙を当て、輪郭を写して切り出しました。使用する布が硬い理由について質問を投げ掛ける場面もあり、ボンドを溶かした液に布を浸して乾かす「のりびき」で、張りを持たせていることが説明されました。
布は三角形に折って折り目を付け、左右のバランスを見ながら型紙を当てました。段々と花の形が出来上がり、参加者は目を輝かせていました。





■ドライバーの軸で立体感を出す

次は、花びらをドライバーの軸に巻き付け、指で押し寄せてしわを付ける工程です。講師は、繰り返すうちにコツがつかめてくると声を掛けながら、花びらの形づくりを支えていました。
柄がはっきり見える面を表にして、花びらの端を軸に一周ほど巻き、左右から指で寄せます。平面だった花がより立体的になり、完成形に近づいてきました。



仕上げには、きらきらした飾りを加えました。参加者は同じテーブルの作品を見比べながら、自分の作品に個性を加えていきました。
作品が出来上がると、参加者は喜びの表情を浮かべながら丁寧に袋詰めをしていきました。



